防災F形瓦

スーパートライ110
SUPER TRY
イチ イチ マル

Tsuruya

TYPE I タイプ1
TYPE I Plus タイプ1 プラス

TYPE I
お陰様で
発売
20th

TYPE I
国内販売
実績
NO.1
※当社調べ

銀鱗(ギンリン)

銀鱗(キンリン)

スノーホワイト

銀鱗(キンリン)

クールブラック

マットブラック

青磁(セイジ)

アンティックブラウン

美銀®(ビギン)

アンティックブラウン

ナチュラルイエロー

ホームページにはより多くの施工写真を掲載中

TYPE I

ほどよいボリューム感が華やかな屋根瓦。
和洋問わず様々な住宅にマッチし、高級感のある屋根を演出します。

カラーバリエーション

Standard Color（スタンダードカラー）　¥8,100～／㎡

マットブラック

アンティック
ブラウン

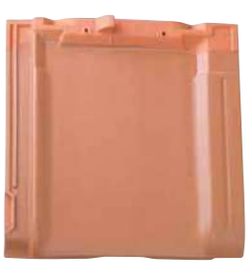
銀鱗（ギンリン）

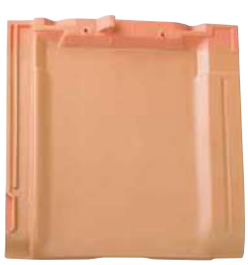
Premium Color（プレミアムカラー）　¥9,100～／㎡

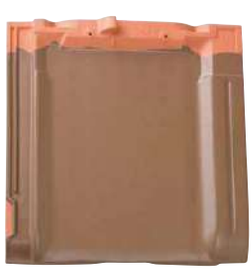
美銀®（ビギン）

マットグリーン

青磁（セイジ）


ナチュラル
レッド


ナチュラル
イエロー


ナチュラル
ブラウン

遮熱瓦（クールベーシックシリーズ・サマースノー）　¥9,100～／㎡

クールブラック

クールブラウン

スノーホワイト
※受注生産品

お好みの色をオーダーできるシステム“MY COLOR KAWARA”もございます。詳しくはお問い合わせください。

※本体工事は屋根形状や勾配により異なります。※表示は本体工事のみの価格です。その他に役物、付帯、下葺き等別途必要となります。詳しくは工事設計価格表をご参照ください。

TYPE I Plus

「スーパートライ110タイプⅠ」の防水機能をさらに強化し、
F形瓦としては業界初の2.0寸勾配屋根に対応します。

カラーバリエーション

Standard Color（スタンダードカラー）　¥9,100～／㎡

クールブラック

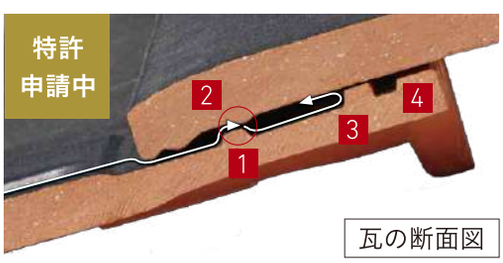
アンティック
ブラウン

銀鱗（ギンリン）

雨漏りしにくく、片流れ屋根や緩勾配屋根に最適

4段水返しをPlus!

4段水返しで風雨をコントロール



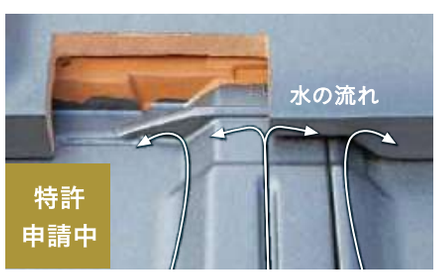
瓦の断面図

1と2の水返しで風雨をブロック

1 2を越える強い風雨は流れを下向きに変えて3でブロック

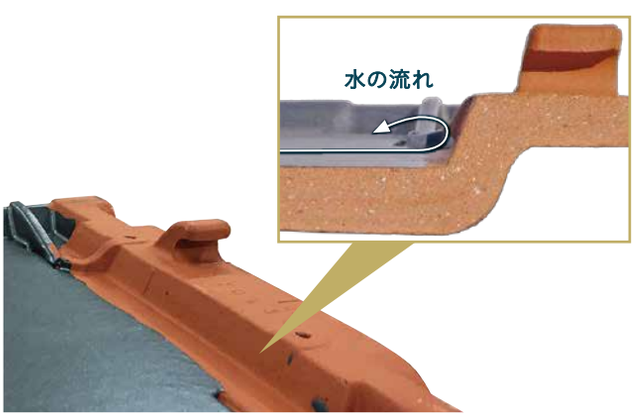
4も備えた安心の4段水返し

左右にまわり込む風雨もブロック



反り立つ壁をPlus!

反り立つ高い壁が風雨をブロック

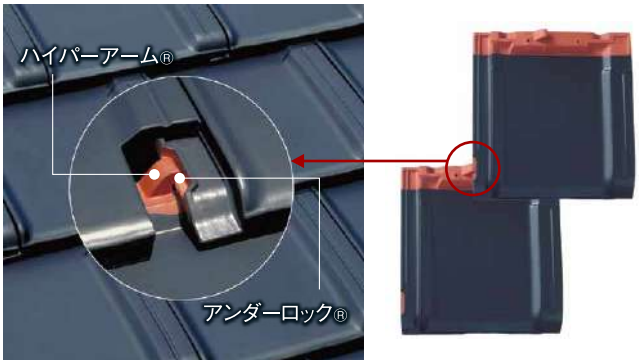


排水性能・水返し高さをPlus!

中水返しの切り込みと高い水返しで
雨水をコントロール
（オーバーフローを軽減）

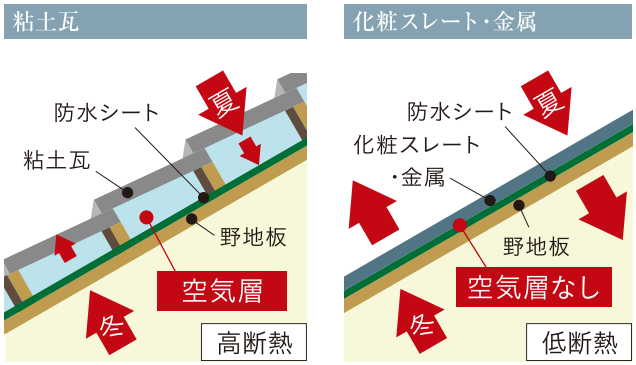
安心・安全な鶴弥の瓦

防 災　地震・台風に強い屋根



下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロックをがっちりおさえこむ「スーパーロック工法」で、大地震の揺れや台風の強風にも落ちない・飛ばない・崩れない屋根！鶴弥オリジナルの工法が住まいを守ります。

快 適　夏涼しく冬暖かい暮らし



粘土瓦は、焼き物特有の高い断熱性をもちます。また、屋根面と瓦の間にある「空気層」には夏の熱気・冬の冷気を屋内に伝えにくく、冷暖房の効果を外に逃しにくいはたらきがあります。

お 得　美しさ長持ち、塗り替えコスト不要

粘土瓦はお茶碗と同じように釉薬をかけて高温で焼き締めて着色しています。そのため、変色・色落ちが起こりにくく、いつまでも美しい外観を保ちます。塗り替えメンテナンスが不要で、長い目で見るととても経済的な屋根材です。

30年後の瓦屋根

メンテナンスが必要な他屋根材

■ 他屋根材より230万円もお得！

※資料：住宅産業協議会より

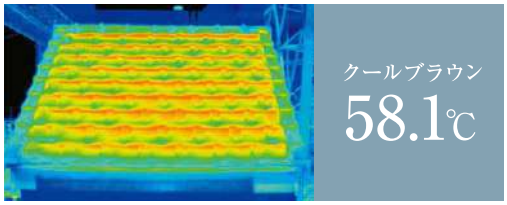
屋根材別／初期コスト	10年	20年	30年	トータルコスト
当社防災瓦 80万円（約8,000円／㎡として）	瓦表面塗り替えの必要なし ※点検	点検	点検	約80万円
化粧スレート・金属 50万円（約5,000円／㎡として）	表面塗装＋足場 70万円	表面塗装＋足場 70万円	葺き替え 120万円	約310万円（50万+70万×2+120万）

※専門業者による定期点検を10年に1回程度を目安として実施するようにお願いします。

クールベーシック（クールブラック・クールブラウン）

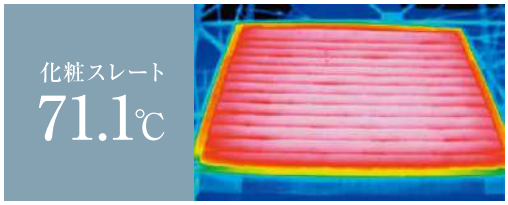
熱を伝えにくい「粘土瓦」に赤外線を反射する「遮熱」機能をプラス

快 適　お 得　夏をさらに涼しく



夏場の屋根材表面温度差

−13℃



1か月の冷房電気代に換算すると、化粧スレートと比較して

約1,100円節約※

瓦の釉薬（ゆうやく）に遮熱成分を含んだ、落ち着いたカラー。
太陽光の赤外線を反射し熱の発生を防ぎます。釉薬は、塗装と違い熱や紫外線劣化に強く、長期間この遮熱性能が続きます。

※社内試験棟による試験結果を一般住宅の夏場1ヶ月間の電気代に換算しています。試験日の条件（日射量や風速等）により試験結果にバラツキがあるため、電気代の削減金額にもバラツキが発生することをご了承ください。また実際の使用環境においては、物件の断熱仕様や立地条件などにより試験結果と異なります。

役物バリエーション

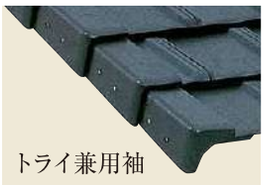
三角冠(紐付)

寄棟部

同質差し棟

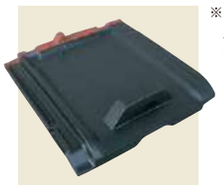
切妻部

トライRS
ワイド袖



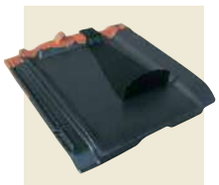
トライ兼用袖

雪止瓦



※雪止瓦は桟瓦と焼成窯、焼成方法の違いにより色差が生じる場合があります。

雪止金具 対応色:黒・銀・茶・緑



※補修用に後付雪止金具がございます。詳しくはお問い合わせください。
※地域ごとに積雪量や雪質が異なるため、雪止瓦及び雪止金具を取り付けても、気象条件などによっては雪が落下する事があります。

トライRSワイド袖 (特許申請中)

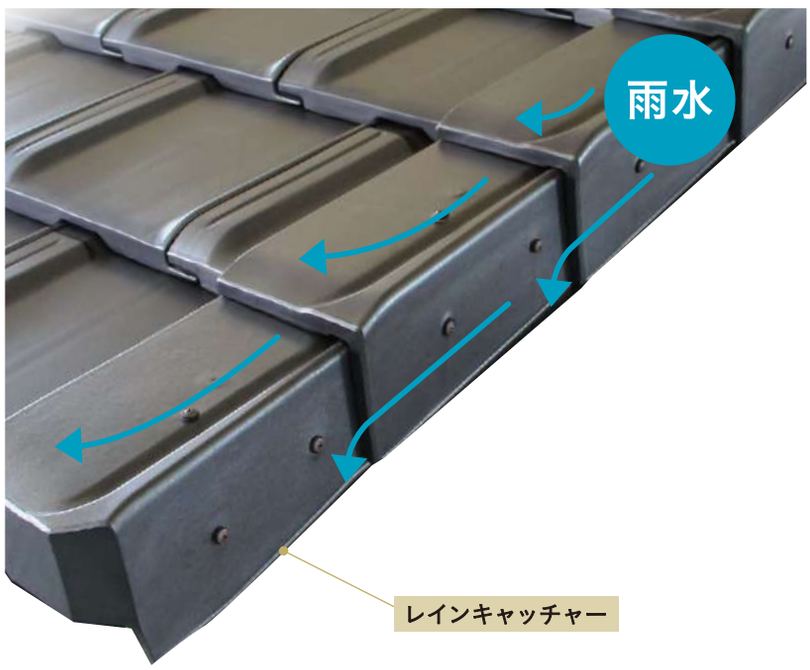
機能性 雨水をよりコントロールし、雨垂れ軽減機能が大幅に向上

施工性 幅と垂れ長さを拡大し、様々な下地・納め方に対応可能

デザイン性 すっきりとしたフラットデザイン

レインキャッチャーと表面張力で、雨垂れを軽減!

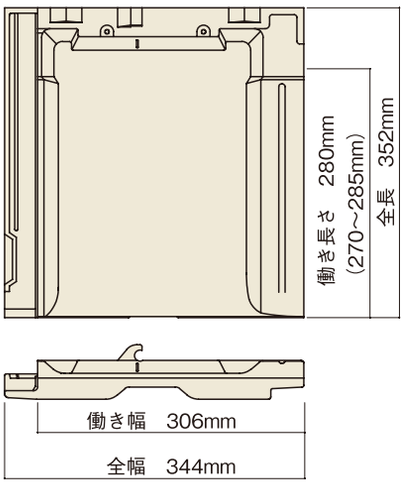
新築からリフォームまで幅広く対応



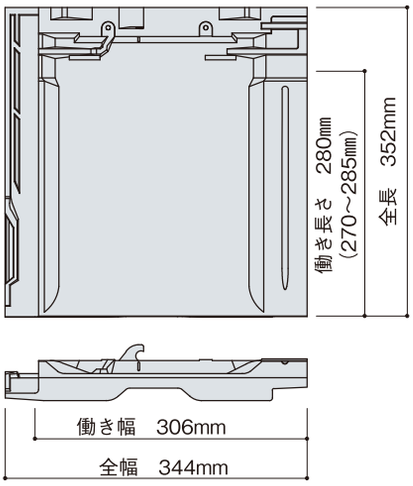
※気象条件により雨水が落下する事があります。
※確実に軒樋に流し込みたい場合は、軒樋を角瓦の外側まで施工してください。軒樋と角瓦が干渉する場合は、側面先端から雨垂れしないよう、軒樋を最小限加工してください。

製品仕様

TYPE I



TYPE I Plus



ホームページより納まり図をご覧いただけます。

鶴弥CAD　検索

製品スペック	
全　長	352±4mm
全　幅	344±4mm
働き長さ	280mm (270～285mm)
働 き 幅	306±4mm
重　量	3.6kg/枚 (43.2kg/㎡)
葺き枚数	12枚/㎡ (40枚/坪)

※瓦の割付をする場合、現物で寸法を確認し、割付を行ってください。
※本仕様は、製品改良のため、予告無く仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

標準屋根勾配とその流れの長さ

	タイプI	タイプI Plus
2.0/10		6m
2.5/10		10m
3.0/10		12m
3.5/10		14m
4.0/10	8m	16m
4.5/10	10m	19m
5.0/10	12m	22m
6.0/10	18m	28m

【注】スーパートライ110タイプI・タイプI Plusを安心してお使いいただくための標準値です。上記以外の勾配に関しては、工事業者にご確認ください。

不 燃 材　瓦は建設省告示第1400号（最終改正国土交通省告示第1178号）に不燃材として認められています。

製品に関するご注意

粘土瓦は天然原料を使った自然素材であるため、下記の要因が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく粘土瓦製品としての一般的性質であり、屋根材としての品質上の問題はありませんので安心してご使用ください。

■色ムラ

粘土成分の違いや、気圧など気象条件による、焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。

■ネジレ、寸法

焼き物特有の若干のネジレ、寸法のバラツキにより施工時に瓦と瓦の間に若干の隙間が発生する事もあります。

■貫入（かんにゅう・表面亀裂）

瓦には貫入（かんにゅう）と呼ばれる、釉薬表面に細かい亀裂が発生している場合があります。窯から出してすぐに発生する貫入状態を直接貫入といいます。釉薬と素地（粘土）の収縮が同じ程度に調合した色の瓦は直接貫入の発生は少なく、施工後徐々に貫入が発生します。これを経年貫入といいます。

■ピンホール

瓦には釉薬表面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物（イワ木、小石等）などで燃焼時に発生するものです。（特に粘土に含まれる小石は、瓦の強度を保つために必要不可欠な素材でありますが、焼成時には陥没しピンホールの原因となります。）

■美銀色のご注意

美銀色は、瓦表面に細かなキズや形状によっては釉キズが発生する場合があります。また、指紋・油などの汚れが付くと取れにくいので素手でのお取扱いはご注意ください。

■虹彩現象（こうさい）

瓦表面に雨水などが汚れとして付着し、これが平滑な薄膜状となった時、光の干渉で虹色に見える現象です。このような現象は瓦全般に発生しますが濃色の釉薬で特に目立ちやすいという特徴があります。

安全に関するご注意

当社製品を使用される際は「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づく施工を推奨します。なお、粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
（地域・ハウスメーカー毎に施工方法が異なる場合があります。）

- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 施工後、専門工事業者以外の方が屋根面に登ることは、落下等非常に危険です。また、雨漏り等の原因になることもありますので絶対に登らないでください。
- 陶器瓦表面はガラス質であり、滑りやすいため、特に朝露・雨など表面が濡れている場合は危険ですので絶対に屋根面に登らないでください。

■三州瓦製造・販売

Tsuruya 株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市州の崎町2番地12

フリーコール 0120-817-268　ホームページ：www.try110.com

営 業 部　TEL.0569-29-4999 FAX.0569-29-1403（販売・価格）

北 陸 支 店　〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地
TEL.0766-69-1268 FAX.0766-69-7268

仙台営業所　〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35
TEL.022-254-1580 FAX.022-254-1581

■特約店

鶴弥スーパートライ登録施工店　ホームページより、お近くの登録施工店を検索することができます。

2019年3月現在